



校長室だより

校長 山崎 聡子

2学期が始まって

2学期が始まり、学校の中は、子供たちの元気な声や校庭を走り回る姿など、活気があふれています。朝休みには、朝の準備を終えた子供たちが、友達と一緒に元気よく校庭を走り回っている姿、友達や先生と教室の中で楽しそうに話しをしている姿、折り紙や絵を描いて思い思いに過ごしている子供たちの姿を見て、大変うれしく思います。

始業式の次の日は、大雨警報により学校は臨時休業となり、座間市の中では、相武台コミュニティセンターなど7つの場所が避難所として開設され、落ち着かない状況となりました。全国的に見れば土砂災害等による被害が多くありました。被災された方々の当たり前の日常が一日も早く取り戻せるよう祈るばかりです。座間市内の学校は、すぐに元通りの学校生活に戻ることができましたが、当たり前の日常を送ることができることに感謝することを忘れずに2学期を過ごしていきたいと思います。

さて、2学期のスタート…学級では、係決めや当番活動の確認を行ったり、学年では、集会を開いて2学期に向けての目標を確認したりして、どの学年・どの学級もよりよい2学期にしていこうという思いを子供たちと先生、そして、子供同士で共有し合っていました。2日(月)には、2学期の第1回目の委員会活動も行いました。2学期の動きをそれぞれの委員会で確認したり、どのような活動をしたりするのも話し合っていました。高学年の子供たちが、学校全体のために仕事を担い率先して行動していくことは、大きな力

となっていきます。高学年の子供たちの姿は下学年の子供たちへ受け継がれていきます。

児童会の呼びかけで、本日から金曜日まであいさつ運動も再開します。「みんなであいさつをして、気持ちのよい朝をスタートさせましょう」と放送していました。2学期も子供たち自身が活動することの意味をしっかりと理解し、価値を見出して行動していけるように、教職員で支えていきたいと思います。

授業も年間計画に沿って始まっています。今年度「ともに学び合い みんなが高まる授業～それぞれの学びを みんなの学びに みんなの学びを それぞれの学びに～」をテーマに授業を行っています。このテーマの実現に向けて、お互いのことを受け止め合い、支え合い、尊重し合う中で安心感のある授業を行うことが必要であると考えています。先日ある授業で実験している際、みんなが周囲に集まっていた時に、ある子が「見える？」と友達に優しく声かけする姿がありました。安心感が引き出されます。また、4人グループでの活動では、「○○さんが大活躍したんだよ。いろいろな意見を出してくれた。」「○○さんが短い時間の中で、わかりやすく絵を描いてくれた」と友達の良さを認める発言がありました。友達との学びの中で、良さを見出し、良さを認めることができることはその子自身の力にもなりますし、友達から認められた子も自分の取組に自信をもつことができ、学習に対する意欲もさらに高まります。

温かな関わり合いの中で、子供たちが高まる瞬間がたくさんあります。その瞬間を見出し、価値づけていくことを日々大切にしたい授業を目指していきたいと思います。